

高浜市第4次地域福祉計画パブリックコメント実施状況
令和4年度第高浜市第4次地域福祉計画に対する意見及び回答

1 パブリックコメント実施状況

- (1) 意見の提出期限 令和5年2月3日(金)～2月17日(金)
- (2) 意見件数 14件(人数3名(内訳:意見箱3名、窓口0名、WEB0名、ファックス0名、Eメール0名))
- (3) 意見対応
 - ①修正します(意見に基づいて、原案を修正したもの) : 12件
 - ②原案どおりとします(意見を検討したが、原案どおりとしたもの) : 0件
 - ③意見として承ります(原案の内容以外の意見を承ったもの) : 1件
 - ④その他(感想や質問など) : 1件

2 意見と意見に対する回答(案)

ページ数	意見箇所	意見	回答(案)	対応
該当なし	該当なし	ファミリーサポートを、空き時間にこどもが一人になる。	<p>【こども育成グループ】 本市においてファミリーサポートセンター事業は実施していませんが、社会福祉法人高浜市社会福祉協議会が実施する「ふれあいサービス」があります。子育て支援の事業として周知に努めていきます。</p> <p>【社会福祉協議会の取組⑤ふれあいサービスの充実を参照(112ページ)】</p>	③意見として承ります(原案の内容以外の意見を承ったもの)

該当なし	指標全体	これからも高浜市を良くする為に頑張ってください。	【地域福祉グループ】 市民一人ひとりのしあわせを実現する“しあわせづくり”の指針となるよう、取り組んでまいります。	④その他（感想や質問など）
5	2 計画の位置付け	計画の位置づけの図の書き方がわかりづらい。	【地域福祉グループ】 関連計画が総合計画からつながる下位の計画であることが理解できるように修正します。	①修正します（意見に基づいて、原案を修正したもの）
99	Ⅱ 社会参加のしくみづくり	第3章までは、生きづらい方について言及があって、そういう方々が、どんな状況になっているのに、この99ページからは、どんな状況の方々が生きづらいとなっている。これは、反対だと思う。生きづらいが先にあって、どんな状況になって、それをどう支えるかという文章になるべきだと考える。	【地域福祉グループ】 ご意見を踏まえ、99ページ下から6行目を次のとおり修正します。 『しかし、地域には、「生きづらさ」を感じている人がいます。心身や経済的な状況、生活環境の変化などにより、ひきこもったり、社会とのつながりが弱くなったりした人が増えています。こうした人が、地域で孤立することなく、安心して支援を受けられ、持てる力を発揮して活躍できるよう「社会参加のしくみづくり」を進めていきます。』	①修正します（意見に基づいて、原案を修正したもの）

<p>92 94</p>	<p>1 包括的な相談支援体制づくり</p> <p>2 支えあいと見守りの体制づくり</p>	<p>92ページの市民の取り組みで「気軽にあいさつを交わす」とあり、94ページの市民の取り組みで「気にかけて、自分ができる範囲でお手伝いしよう。」とあるが、同じようでも目標によって、市民のやるが変わるのはおかしいのではないか。「気にかけて、声をかけてみよう。そして、できる範囲でお手伝いをしよう。」とすると良いと考える。</p>	<p>【地域福祉グループ】</p> <p>92ページの「市民の取組」については、包括的な支えとなるように、相談されやすい関係づくりの取組を記載しました。一方で94ページの「市民の取組」については、困っている人からの相談を待つのではなく、自ら声をかけていく取組として分けて記載をしました。ただし、同じような目標によって取組が変わると分かりづらいとのご意見をいただきましたので、「地域で困っている人がいれば気にかけて、声をかけてみよう。そして、できる範囲でお手伝いをしよう。」に修正します。</p>	<p>①修正します（意見に基づいて、原案を修正したもの）</p>
<p>101 103</p>	<p>1 参加支援のつながりづくり</p>	<p>市民の取り組みでいきなり「やさしい日本語」で話しかけよう。」とあるが、行政の役割にも、社会福祉協議会の役割にも、「やさしい日本語」ということを推進するとか広めていこうというものがない。</p>	<p>【地域福祉グループ】</p> <p>ご意見を踏まえ、101ページ⑦の次に⑧として次の項目を追加し、⑧から⑪を一つずつ繰り下げます。</p> <p>⑧「やさしい日本語」※の普及</p> <p>日本語能力が十分でない外国籍住民をはじめ、誰にでも理解しやすい「やさしい日本語」の普及を推進します。</p> <p>※「やさしい日本語」：簡易な表現を用いる、文の構造を簡単にする、漢字にふりがなを振るなどして、誰にでもわかりやすくした日本語のこと。外国籍住民に災害情報を迅速かつ正確に</p>	<p>①修正します（意見に基づいて、原案を修正したもの）</p>

			伝えるために弘前大学社会言語学研究室で考案されたものだが、子ども、高齢者、障がいのある人などにとっても分かりやすいコミュニケーション手段として注目されている。その普及のため出入国在留管理庁と文化庁が「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」を作成している。	
101 102	1参加支援のつながりづくり	マイノリティに対してのことを考えてはいるが、マジョリティに対して行政が進めていくこともあると考える。例えば、101ページの⑦は、市民に対して普及だけでなく、理解を深めてもらうとか、⑧は、日本人にも簡単な外国語の挨拶を学ぶ機会を増やしていくとか、考えられる。⑨は、外国籍住民の参加支援の充実とあるが、リーダーとなる人に対してだけでなく、外国籍の方へ市民がどのように接していくといいかとか、考えられる。マジョリティがやるべきことを記載しているところもあるので、統一すべきだと考える。	【地域福祉グループ】 ご意見を踏まえ、101ページ⑦および102ページ⑧を次のとおり修正します。 ⑦手話言語の普及 コミュニケーション障がいのある人の社会参加を促進するため、手話を言語として位置付け、その普及と理解の促進に努めます。 ⑨(⑧) 外国籍住民が生活ルール等を学ぶ機会の充実 外国籍住民が生活していくために必要な日本語やルール等を学ぶ機会を充実します。また、市民にも外国籍住民のことをよく知ってもらうため、簡単な外国語を学ぶ機会を設けることで、あいさつを始めとしたコミュニケーションを生み出し、お互いのつながりを創出します。	①修正します (意見に基づいて、原案を修正したもの)

107 108	3 交流の 拠点づく り	ボッチャなど障がい者スポーツに参加しよう。この障がい者スポーツという言葉を使うこと自体が違和感を覚える。世代や障害のあるなし関係なく誰もが楽しめるスポーツであるボッチャというなら、ともかく、枕詞に障がい者スポーツという言葉を選択するのは、いかなものか。	【地域福祉グループ】 ご意見を踏まえ、107ページの行政の取組④から「障がい者スポーツ」を削除し、ボッチャについての注釈を加えます。また108ページの市民の取組の2つ目は「障がいの有無に関係なく誰もが楽しめるボッチャなどに参加しよう。」に修正します。 ※ボッチャ：ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、他のボールをいかに近づけるかを競うスポーツ。パラリンピックの正式競技として採用されている。	①修正します (意見に基づいて、原案を修正したもの)
108	3 交流の 拠点づく り	交流拠点に出向き、お手伝いをしよう。とあるが、まずは、参加が先で、次にお手伝いとなるのではないかと。市民の方がお手伝いしてくれるのは大変ありがたいことではあるが、押しつけがましくはないだろうか。私が訂正するならば、「交流拠点に参加してみよう。できることがあったら、お手伝いしてみよう。」とする。	【地域福祉グループ】 108ページの「市民の取組」の3つ目は、ご意見のとおり、まずは参加し、次にお手伝いとなることは理解できますので、「交流拠点の活動に参加してみよう。できることがあったらお手伝いしてみよう。」に修正します。	①修正します (意見に基づいて、原案を修正したもの)
116	2 安心・安 全のまち づくり	市民の取組で、「こども110番」という言葉が突然でてきているので、これも行政が、地域の安全活動の中に入っているということならば、理解できるが、先にも記載したが、マスでわかる言葉を使うべきだし、行政が働きかけて、市民が動くという形にするべきではないの	【地域福祉グループ】 116ページの「市民の取組」の3つ目は、ご意見を踏まえ、「登下校の子どもの見守りへの参加など、子どもの安全確保に努めよう。」に修正します。	①修正します (意見に基づいて、原案を修正したもの)

		か。また、⑧について、『「こども110番」など地域の安全活動』と言葉を足した方がわかりやすいと考える。		
117	3 地域を知るきっかけづくり	117ページの市民の取り組みで、「地域の魅力をSNSで発信して」とあるが、やはりこれも行政がSNSの発信の仕方の講座を開いていくとかがあって、市民の発信があるのではないか。市民の方の口コミや発信力は大いに期待したいし、すごく可能性があることだとは思いますが、何も仕掛けないのに、やってくれ、はないと考える。	【総合政策グループ】 市民の皆様向けの情報発信のための講座等を開催していきたいと考えているため、116ページに記載している【行政の取組】②コミュニティ活動への参加促進に、「また、コミュニティ活動へ参画しやすくなるよう、自分のできることを活かせる講座などを実施します。」を追加します。	①修正します (意見に基づいて、原案を修正したもの)
120	4 すこやかに暮らせるやさしいまちづくり	市民の取り組みで、「ゲートキーパー養成研修に参加し」とあるからには、そういう研修を行政か、社協が仕掛けていくのか。記載がないので、疑問である。	【健康推進グループ】 ご意見を踏まえ、111ページ⑨の次に⑩として次の項目を追加し、⑩と⑪を一つずつ繰り下げます。また、120ページの※を削除します。 ⑩ゲートキーパー※研修の充実 悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげるゲートキーパーの養成講座を開催し、身近な地域での気づきやつなぎ役の育成を推進します。 ※ゲートキーパー：自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることができる人。	①修正します (意見に基づいて、原案を修正したもの)